

# 次世代型紫外線水殺菌装置を用いたSPF人工孵化ブリ種苗の開発

\* SPF: Specific Pathogen Free (特定の病原菌に無感染の)

代表機関：株式会社マルハニチロ養殖技術開発センター

## 実証事業の概要

天然資源への負担の少ない、持続可能なブリ養殖業を実現するためには、**天然モジャコ種苗から人工孵化ブリ種苗への転換が急務です**。天然モジャコ種苗では、**微孢子虫 (*Microsporidium seriolae*) の筋肉寄生によるベコ病や、アクアビルナウイルス (*Aquabirnavirus*) によるウイルス性腹水症の発生が問題となっています**。

そこで、本提案では、**次世代型紫外線水殺菌装置**を用いて、殺菌性能を可視化しながら対象となる病原体やウイルスに対して照射量設定を変えることにより、効果的な防疫システムを実現し、同時に省エネ・省コスト、且つ環境問題を考慮したケミカルフリーの種苗生産体制を確立し、**ベコ病およびウイルス性腹水症の原因病原体に無感染のSPF人工孵化ブリ種苗を開発します**。

## 計画概要図

### モジャコ種苗の魚病被害

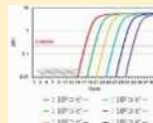


天然モジャコ種苗に甚大な経済的被害をもたらすベコ病やウイルス性腹水症は、陸上種苗生産過程の沖だし前のかけ流し飼育でも感染が認められる

沖出し後に蔓延して被害が広がる

### SPF人工孵化ブリ種苗の開発

マルハニチロ養殖技術開発センター



qPCR検査



次世代型紫外線水殺菌装置による大容量減菌飼育水での人工孵化ブリの陸上種苗生産

qPCR検査 & 軟X線撮影によるベコ病 & 腹水症無感染の証明



減菌飼育水での種苗生産



軟X線撮影

### 目指す姿

本邦初のSPF人工孵化ブリ種苗  
50万尾/年の大量生産・安定供給



国際認証取得  
養殖ブリ輸出増大へ!!